

医会 Pick Up

「こどもの目の日」記念イベント in 山形の報告

山形県眼科医会 林 思 音

2026年3月29日(日), 山形市の霞城セントラル1階アトリウムにおいて「こどもの目の日」記念イベント in 山形が開催されました。本企画は日本眼科医会が各地で展開しているものであり, 東京都立川市, 群馬県に続き, 山形県で実施されたものです。園児から小学校低学年の児童とその保護者を対象に実施されました。当日は80名以上の家族連れが来場し, 地域住民に対する子どもの目(特に近視)に関する啓発活動として, 一定の集客を得ることができました。

本イベントの開催にあたり, 開催地域の県眼科医会として協力する貴重な機会をいただきました。山形県眼科医会としては, 本企画を今後も継続した啓発活動へと発展させていきたいと考えております。また, 今後同様の企画を検討されている他地域の先生方の参考となることを期待し, 当日の様子についてご報告いたします。

1. 実施内容

本イベントでは, 「楽しみながら学ぶ」ことをコンセプトに, 以下のプログラムを実施しました。

(1) 子ども向けお話の会(ステージ企画)

午前と午後にそれぞれ1回, 約30分間のステージイベントを実施しました。午前の部は日本眼科医会常任理事の近藤永子先生, 午後の部は山形県眼科医会理事の三橋玉絵先生が担当し, 子ども向けに視機能発達の特徴や近視予防のポイントについて分かりやすく解説しました。特に, 近視により眼軸長が延長すること, 延長した眼軸は元に戻らないことについて, 山形県民に身近な「さくらんぼ」で丸い眼球を, 「レモン」で延長した眼球を例に説明し, 小児にも理解しやすいと好評でした(図1)。

講話後には, 目に関するクイズおよび「アイのうた」の歌唱・ダンスを実施しました。「アイのうた」は, 地元の合唱団の子どもたちがボランティアとして参加し, ステージ進行をリードしました(図2)。当日の様子は日本眼科医会のウェブサイトにて動画公開されております^{URL 1)}。

(2) 体験型プログラム

視力測定体験, 30 cmの距離を体感するプログラム, クイズコーナー, 保護者相談ブースを設置しました。各コーナーを巡りながらシールを集めるシー



図1 子ども向けお話の会
丸い眼球を「さくらんぼ」を用いて説明。



図2 「アイのうた」の歌唱・ダンス
地元合唱団の子どもたちがステージ進行をリード。

ルラリー形式とすることで、子どもたちが楽しみながら学べる構成としました。各コーナーの運営および誘導は主に視能訓練士が担当し、円滑な進行が図られました(図3, 4)。

(3) プレゼント配布

参加した子どもたちには、30 cmの距離を意識できる「めめぺん」下敷きおよび「めめぴー×きてけろくん(山形県公式キャラクター)」のオリジナルシール(図5)を配布しました。また、アンケートに回答した保護者には、日頃より視覚障がい支援に取り組まれているロクシタンジャパン株式会社より提供されたノベルティを配布しました。

2. 当日のスタッフ体制

日本眼科医会から白根雅子会長、柏井真理子副会

長、加藤圭一副会長、近藤永子常任理事の4名をはじめ、事務局スタッフ5名が参加されました。

これに加え、地元の眼科医10名、視能訓練士19名、製薬企業関係者5名、さらに合唱ボランティアの児童9名と指導者2名が参加し、多職種による協働体制で運営されました(図6)。

3. 本イベントを通じて

本イベントを通じて、子どもおよびその保護者に対して視機能発達の重要性、とりわけ近視に関する知識の普及を図ることができました。

アンケートでは、「画面から30 cmの距離を意識することが分かりやすく、今後の声かけに活用できる」「タブレットから30 cm離れることに子ども自身が関心を持った」など、具体的な行動変容につな



図3 体験型プログラム1

体験型プログラムコーナーの全体像。会場にブースを設置し、参加者が歩いて回る形式にした。



図4 体験型プログラム2

視力測定体験コーナー。視能訓練士が実施。



図5 「めめぴー×きてけろくん(山形県公式キャラクター)」のオリジナルシール
(日本眼科医会制作)



図6 当日参加のスタッフと



図7 当日の地方新聞記事

がる意見が多く認められました。また、「目の大きさが変わるという点がショッキングだった」といった意見もあり、視機能に対する理解の深まりが得られたものと考えられました。

さらに、当日は小児科医、他県の眼科医、教育関係者（教育委員会、幼稚園・認定こども園、盲学校、視能訓練士養成校）、行政関係者（保健所）など、多職種の見学もあり、本取り組みへの関心の高さがうかがわれました。加えて、複数の報道機関による取材が行われ、地域住民へのさらなる啓発につながったと考えられました（図7）。

4. 今後の展望

本企画は日本眼科医会主導で実施されたものですが、今後は山形県眼科医会として本活動を継承し、

地域に根ざした継続的な啓発活動へと発展させていくことが重要と考えます。小児の視機能発達および近視対策は、医療のみならず教育・行政との連携が不可欠であり、本イベントはその基盤となる取り組みの一つと位置付けられます。

今後も関係各位のご支援とご協力を賜りながら、活動の充実を図ってまいります。

【参考ウェブサイト】

- 1) 日本眼科医会. 乳幼児・学校保健関連情報 「こどもの目の日」記念イベント in 山形紹介動画. <https://www.youtube.com/watch?v=1tKWSnQ56tg> (2026年5月11日閲覧)



6月10日は こどもの目の日

まもろうこどもの目

はぐくもう!

6歳で
視力
1.0

「こどもの目の日」
記念イベント
in 山形

2026 3.29日
11:00 ~ 15:00

会場：霞城セントラル
1階アトリウム

山形市城南町一丁目1番1号
最寄り駅：JR 山形駅 連絡通路で2F直結 徒歩5分
対象：園児～小学校低学年の児童とその保護者

参加費：無料
プレゼント付き

「アイのうた」を
歌ってくれる
子どもたちを募集!

シールを集めて
クイズに答えよう!
※どなたでも
ご参加いただけます

守ろう子どもの目
3つの約束

1回目	2回目
11:20-11:50	13:30-14:00

※事前申込制

お申込みは
こちら

詳細は
こちら

主催 公益社団法人 日本眼科医会
JAPAN OPHTHALMOLOGISTS ASSOCIATION

後援 山形県 山形市 公益社団法人山形県私立幼稚園・認定こども園協会 山形県小・中・高等学校教育研究会養護教諭連絡協議会
山形県医師会 山形県眼科医会 山形市医師会 山形県小児科医会 山形市小児科医会 公益社団法人日本視能訓練士協会

協賛 L'OCCITANE
EN PROVENCE

お問い合わせ先：こどもの目の日運営事務局 info@staffroom.jp